

活動主題 「中部地方の地域的特色をもとに持続可能な社会づくりを探る」

活動の価値

中部地方は、日本の中心部に位置し、東海、中央高地、北陸という3つの地域に区分され、自然環境的には太平洋側、中央高地、日本海側に分けられ、古くから街道を通して関東と近畿の結節地域としての役割を果たしてきた。そのため、東海地域の世界を代表する自動車産業や北陸地域の高い技術力を誇る伝統的地場、中央高地の精密機械工業など歴史的に多様な産業が発達・変化してきた地域である。また、近年は自動車会社が目指す近未来都市であるウーブン・シティの着工や、リニア中央新幹線の実験など未来に向けた実証実験が行われている地域でもある。一方で、既存の産業とデジタル技術の融合については課題もみられる。

本活動は、歴史的背景を中核とした考察の仕方に基づき、中部地方の地域的特色や地域の課題を理解するとともに、中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する活動である。この活動を通して、子どもは、産業が自然環境や交通網などと密接な関係があり、一方で自然環境への働きかけがあることを理解することができ、地域をよりよくしたいという人々の思いや願いにも気づくことができるので、公民としての資質・能力の基礎をはぐくむ上でも大変意義のある活動である。

子どもの実態

本学級の子ども（〇名）は、事前のアンケートで、中部地方に属する9県の位置をすべて正しく答えた子どもが〇名であった。また、中部地方でさかんな産業について問うと、自動車工業（〇名）、精密機械工業（〇名）、稲作（〇名）などと回答していた。さらに、主題図をもとに諏訪湖周辺の工業地域の変化について問うと、〇名の子どもが「製糸業から精密機械工業、さらにプリンタなどの精密機械工業へ変化している」ことを読み取ることができていた。最後に、中部地方の地域的特色を問うと、「工業が発達した地域」（〇名）と回答した。しかし、産業と気候を関連付けて説明した子どもは〇名、産業と他地域との結び付きを関連付けて説明した子どもも〇名であり、環境条件、人々の営み、他地域との結び付きを関連付けて説明した子どもはいなかった。

以上のことから、本学級の子どもは、中部地方についての関心が高いとはいえず、福井県でめがねフレームの生産が多いことや静岡県でプラモデルの生産が盛んであることを知っている子どももいるが、全体として既存の知識が多いとはいえない。また、地域的特色を環境条件、人々の営み、他地域との結び付きを関連付けて説明することができていない。しかし、諏訪湖周辺の主題図の読み取りから、主題図を読み取り地域の産業の移り変わりを表現することは概ねできると考えられる。

活動の援助観

そこで、本活動では、中部地方の地域的特色と課題について捉えるとともに、中部地方の持続可能な社会づくりを考えることができるようにすることをねらいとする。そのために、次のような援助を行う。

- ・中部地方の産業が発達した要因についての疑問をもつことができるように、主な産業の生産割合を提示する。
- ・中部地方の学習に見通しをもつことができるように、探究内容の吟味と仮説の設定を行う。
- ・自分の問いの解決に向けて、学習を進めることができるように、探究計画を立てる場を設定する。
- ・産業と自然環境や他地域との結び付きを関連付けることができるように、三角ロジックを用いて整理する場を設定する。
- ・自他の仮説を多面的・多角的に考察することができるように、小集団で役割分担された仮説の検討活動を設定する。
- ・東海・中央高地・北陸の共通点や相違点を捉えることができるように、ベン図を用いて整理する場を設定する。
- ・持続可能な社会づくりに向けた取組について考えることができるように、産業の振興と環境保全について調べる活動を設定する。

○ 子どもの学習目標

中部地方に多様な産業が発達した理由を考える。

○ 教師の援助目標

中部地方の地域的特色と課題について捉え、これからの持続可能な社会づくりを考えることができるようにする。

活動計画（6時間）

次	時	学習活動・内容	子どもの問いと思考	援助のねらい・内容・方法
本時 1 / 1	1 ①	1 本活動の学習課題を設定する。 (1) 中部地方の産業を知る。 ・自動車、楽器、プラモデル ・精密機械工業、果物 ・めがねフレーム (2) 学習課題を設定する。 学習課題 なぜ中部地方は多様な産業が発達したのか探ろう。 (3) 探究内容の吟味と仮説の設定を行う。 ・探究内容 ・仮説の設定	中部地方はどのような地域なのかな。 多様な産業が発達した地域なのだな。	中部地方の産業の変化に関心を持ち、疑問点をもとに学習課題を設定することができるようにする。 ・中部地方の産業が発達した要因についての疑問をもつことができるように、主な産業の生産割合を提示する。 ・中部地方の学習に見通しをもつことができるように、探究内容の吟味と仮説の設定を行う。
	1 ③	2 学習課題を探究する。 (1) 探究計画をたてる。 ・自分の学習課題 (自動車、精密機械、めがねフレームなど) ・自分でやること ・他者と一緒にやること ・先生にやってもらいたいこと (2) 計画を基に探究する。 ・産業と自然環境の関係 ・産業と歴史的背景 ・人々の思いや願い (3) 自分の考えをまとめる。 2 3 中部地方に多様な産業が発達した理由を考察する。 (1) 小集団で交流する。 ・東海、中央高地、北陸の特色 (2) 中部地方の特色と課題をまとめる。 ・関東と近畿の結節点 ・自然環境を生かした産業 ・交通条件のよさ ・デジタル技術の融合	産業が発展するにはどのような条件が関係しているのかな。 自然環境だけではなく歴史的背景も関係しているのだな。 他の人はどのようなことを調べたのかな。 中部地方は、ものづくりの強みをいかして発展してきた地域なのだな。	中部地方の地域的特色と課題について捉えることができるようにする。 ・自分が立てた問いの解決に向けて、学習を進めることができるように、探究計画を立てる場を設定する。 ・産業と歴史的背景の関係を理解することができるように、年代の異なる主題図を準備する。 ・産業と自然環境や他地域との結び付きを関連付けることができるように、三角ロジックを用いて整理する場を設定する。 ・自他の仮説を多面的・多角的に考察することができるように、小集団で役割分担された仮説の検討活動を設定する。 ・東海・中央高地・北陸の共通点や相違点を捉えることができるように、ベン図を用いて整理する場を設定する。
三	1 ①	4 中部地方の将来像を構想する。 (1) 産業の振興と環境保全について調べる。 ・ウーブン・シティ ・リニア中央新幹線 (2) レポートにまとめる。	中部地方の未来はどのようなようになっていくのかな。 新しい物やサービスが生まれ出される地域になっていくかもしれないな。	中部地方の持続可能な社会づくりについて考えることができるようにする。 ・持続可能な社会づくりに向けた取組について考えることができるように、産業の振興と環境保全について調べる活動を設定する。

本時 公開授業 1 第2学年〇組教室 第一次の1時(1/1)

本時の援助観

前時までには子どもは、自然環境を中核とした考察の仕方北海道地方の学習を行っている。また、交通や通信を中核とした考察の仕方中国・四国地方を学習し、人口や都市・村落を中核とした考察の仕方関東地方の学習を行っている。さらに、日本の諸地域学習の最後に九州地方の学習を行う予定である。そこで、本時は、中部地方の産業の変化に関心をもち、学習課題を設定することができるように中部地方の主な産業について考える活動を設定する。

主眼

中部地方の産業の多様性に気づき、自然環境だけではなく様々な要因が影響し合った産業が成り立っていることを理解し、因果関係を推論することができるようにする。

本時の過程

学習活動・内容	援助のねらい・内容・方法	形態	配時
<p>1 本時学習の方向性を確認する。</p> <p>(1) 生産量・出荷額全国1位のものを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶどう生産量1位(山梨県) ・顕微鏡・拡大鏡出荷額1位(長野県) ・腕時計出荷額1位(長野県) ・印刷装置出荷額1位(長野県) <p>(2) めあてを設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">中部地方の産業の特色を探ろう</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">本時の活動に見通しをもち、意欲をもつことができるようにする。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動に見通しをもち、意欲をもつことができるように、生産量・出荷額全国1位の農産物・工業製品を提示する。 	一斉	10
<p>2 中部地方の主な産業について考える。</p> <p>(1) 東海・北陸地方の産業について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めがねフレーム(福井県) ・ピアノ(静岡県) ・プラモデル(静岡県) ・自動車(愛知県) <p>(2) 学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">なぜ中部地方は多様な産業が発達したのか探ろう。</div> <p>(3) 探究内容を吟味する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境条件…地形、気候、位置 ・他地域との結び付き …鉄道、高速道路、物や人の移動 ・人々の生活…農業、工業 ・日本全体を全域としてみる視点 ・中部地方を全域としてみる視点 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中部地方の産業の多様性に気づき、自然環境だけではなく様々な要因が影響し合った産業が成り立っていることを見いだすことができるようにする。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・中部地方の産業の多様性に気づくことができるように、全国シェアの高い産業について考える活動を設定する。 ・今後の活動に見通しをもつことができるように、学習課題を設定する活動を設定する。 ・産業と自然環境は密接に結びついていることを確認することができるように、北海道地方で学んだことを想起する場を設定する。 ・学習課題の解決へに見通しをもつことができるように、デジタルホワイトボードアプリを用いて探究内容を吟味する活動を設定する。 	個／小集団／学級集団	30
<p>3 本時の学習を振り返る。</p> <p>(1) 仮説を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪が多い地域では冬の間には農作業ができないので家の中でできる産業が発達したのではないか。 ・消費地に近いから産業が発達したのではないか。 <p>(2) 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かったこと ・分からなかったこと ・新たな疑問 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">因果関係を推論することができるようにする。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・因果関係を推論することができるように、仮説を設定する活動を設定する。 ・日常生活の中でわかったつもりになっていたことを問い直すことができるように、本時を振り返る活動を設定する。 	個／学級集団	10

活動の評価

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 中部地方の地域的特色について、統計資料や主題図から読み取ることができる。 中部地方で多様な産業が発達している理由を人々の生活に着目して、自然環境や他地域との結び付きと関連付けて説明することができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 今までの社会認識を多面的・多角的に捉えることができる。 中部地方で多様な産業が発達している要因を関連付けることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 中部地方で多様な産業が発達したのかを探る活動への見通しをもつことができる。 中部地方の地域的特色を基に産業の振興と環境保全について考え続けることができる。

※ 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

次	時	学習活動	評価規準(観点：方法)	指導の個別化(手だて)
一	1 ①	1 本活動の学習課題を設定する。 (1) 中部地方の産業を知る。 (2) 学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">なぜ中部地方は多様な産業が発達したのか探ろう。</div> (3) 探究内容の吟味と仮説の設定を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 中部地方で多様な産業が発達したのかを探る活動への見通しをもつことができる。(態：ワークシート) 	地図や資料から読み取ったことに対して「なぜ」をつけて答えを考えるようにアドバイスをする。
二	1 ③	2 学習課題を探究する。 (1) 探究計画をたてる。 (2) 計画をもとに探究する。 (3) 自分の考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 中部地方の地域的特色について、統計資料や主題図から読み取ることができる。(知：ワークシート) 今までの社会認識を多面的・多角的に捉えることができる。(思：様相観察) 	読み取りやすい資料や読み取りのポイントを記入した資料を準備する。 他者の発言に対して、「なぜ」「本当に」と発言してみるようにアドバイスする。
	2 ①	3 中部地方に多様な産業が発達した理由を考察する。 (1) 小集団で交流する。 (2) 中部地方の特色と課題をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 中部地方で多様な産業が発達している要因を関連付けることができる。(思：様相観察) 中部地方で多様な産業が発達している理由を人々の生活に着目して、自然環境や他地域との結び付きと関連付けて説明することができる。(知：ワークシート) 	ロイロノート(協働学習支援ツール)を用いて具体的にカードを操作しながら考えるようアドバイスする。 産業が発達する要因について、原因と結果の関係で結びつけて図化した資料を準備する。
三	1 ①	4 中部地方の将来像を構想する。 (1) 産業の振興と環境保全について考える。 (2) レポートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 中部地方で学んだことを基に産業の振興と環境保全について考え続けることができる。(態：ワークシート) 	具体的な事業を紹介した動画のURLをまとめた資料を準備する。